



今年4月、東川町観光協会に強力な布陣が加わりました。今春韓国の大学を卒業したばかりの若い感覚が、新たな魅力を加えて東川の紹介を発信しています。今まで韓国に知られていなかった北海道の風習、盆踊りや香典返し、本場旭川ラーメンのおいしさなど、観光パンフレットだけでは分からない人々の暮らしや催し、魅力を次々と紹介しているのです。盆踊りのニュースでは、準備の様子からさまざまな衣装で踊る仮装踊りの様子、一緒に登って踊った本人も登場し臨場感たっぷり。単なる観光地紹介だけにとどまらない新しい町内紹介は、韓国内に向けて新たな魅力売り込みへの大きな原動力となっています。

4月からインターネットにアップしているブログ『Hello Higashikawa』が好評です。日々追って訪れる人が増え、8月4日には過去最高の1日101人を記録しました。「ウワーツ、すごい！」。反響が広がるたびに思わず手をたたいて大喜び。

「東川町までどうやって行けばいい？」「天人峽のホテルの宿泊料金は？」。韓国からのメール問い合わせも増えました。

お気に入りのピンク色デジカメは、取材用に大活躍。2日に1回程度ずつ記事を更新し、町内の出来事、独り言など最新情報が大盛りです。

写真甲子園、どんとこい祭り、ラトヴィア・ルイーエナ町との姉妹提携、テレビドラマの町内ロケの様子など、何でも自分流で紹介します。

香典返しとして海苔(のり)のパック袋入りを使う日本の習慣の不思議を紹介したり、町内のラーメン店も紹介します。「韓国でラーメンといえば、インスタントしかないよ」と珍しいようです。これが韓国で「ウケ」ている理由かも。

「韓国人は東川をあまり知らないで、旭川、美瑛のページから入ってきてくれる」とか。旭山動物園入気を背景に旭川のホームページから検索してきてくれる来訪者が多いようです。だから「東川をもっとたくさん韓国の人に知らせたい」とブログとは別に、本格的な韓国語ホームページを作りたというのが現在の計画。

6月、韓国・インチョン市在住のカレ氏が来町しました。大阪留学していたため、日本の事情には詳しいとか。「良い町だ」と安心してくれたそうです。

パーティーがあるたびに町内では野外焼肉、ジンギスカンになるので「焼肉パーティーが多いのはこの町だけ？」。「『あなたの町では1日でも豚1頭ずつ食べているの?』とカレが言っていましたよ」。これが大きな疑問のひとつ。

最大の仕事は翻訳作業です。難しいのは、感情や情景描写の表現。「滑らかに流れるような言葉のリズムにならない」と今一番の悩みです。

ミスン_ブログ「Hello Higashikawa」のフロントページ
香典返しのことが話題になっているようです(8月6日更新)

ブログ製作に欠かせない愛機のデジカメ



東川賞で韓国人作家の通訳



デジカメ片手に旭岳温泉街を取材



テレビの撮影ロケでエキストラ出演しました(6月)

ジョン・ミスンさん/東川町観光協会事務局職員/東町1 ☎82-3671(事務所)
韓国・仁川(インチョン)市出身、24歳。水原(スーウォン)大学日本語学科卒。2年在学中に山梨県甲府市の日本語学校に1年間語学留学していました。4月から東川観光協会職員。主な仕事は、東川町の魅力を韓国に伝えること。観光パンフレットのハングル語翻訳、各種文書の翻訳、そしてブログ「ハロー東川」のページ制作と更新。4月10日にアップしました。URLは<http://blog.naver.com/hydenmee>